

平成 24 年度入学式 式辞

毎年入学式の前は満開の桜が散ることなく咲いていてくれるかが気にかかりましたが、今年は厳しい冬の寒さが続いたせい、この晴れの日には桜は間に合うのかに気を揉む毎日でした。それでも寝屋川高校67期生のスタートを祝うかのように伝統の桜が咲き始めてくれました。

さて、本日大阪府立寝屋川高等学校平成24 年度入学式を挙行了しましたところ、お忙しい中、大阪府教育委員会、本校PTA並びに同窓会北水会役員の皆様のご臨席を賜り400名の第 67 期生の高校生活のスタートを共にお祝い頂けますことを心から感謝致しますと共に厚く御礼申し上げます。

本当にありがとうございます。誠に勝手ですがご紹介は後ほど司会よりさせていただきます。

保護者の皆様にはお子様のご入学おめでとうございます。心からお慶び申し上げます。長く厳しかった受験の日々をお子様と共に乗り越えてこられたそのご労苦は並大抵のものではなかったことでしょう。大阪最大規模の10クラス、400名の募集定員でしたが、それでも 477 名が競い合う激戦となりました。それだけに今日の日の喜びには計り知れないものがあるかと存じます。本当におめでとうございます。また、これからの3年間本校教育活動に対しご理解ご支援をよろしくお願い申し上げます。

さて、ただいま入学を許可した第 67 期生400名の皆さん入学おめでとう。

皆さんは高校生としての力強い第一歩を今まさに踏み出し、大きな喜びに溢れていることと思います。私たち教職員も皆さんの先輩となる2年生、3年生もこぞって皆さんを歓迎します。

本校は今年創立102 年を迎える府下有数の伝統校です。また、受け継がれた真・善・美の校訓に支えられた文武両道の実践、実績を誇る学校でもあります。皆さんも一刻も早く学校生活に慣れ、伝統のバトンを確りと受け継ぎ、次代へ繋いで行けるよう頑張ってください。

今日はそんな皆さんに真の寝屋川高校生になってもらうため寝屋川高校をいくつか

の視点で紹介し、その特色や皆さんに期待したい心構えなどを示したいと思います。

まず、学校は『鍛える場所』です。

鍛えるとは学力ばかりでなく、人間として皆さんを鍛え育てていくということです。本校には真・善・美の校訓があります。また、21世紀のコスモポリタンを目指す君たちには志、専門力そしてコミュニケーション力という目標も示されています。君たちを鍛えていくに当たってはベンチマークとして高いバーを設定しようと思います。乗り越えることは並大抵ではないでしょう。しかし高い目標こそが人を成長させます。そして目標の実現に向って弛まぬ努力を継続できることこそが成長なのです。バーを越えられず自信をなくすこともあるでしょう。そんな時には先生方の励ましの声が掛かかるとでしょう。先輩や同級生の激励が頼りになるでしょう。その声、期待に応え、失敗を恐れないう寝屋川高校生であり続けてください。

次に、学校は『学ぶ場所』です。

第一志望を現役で叶える学力を育むことは学校にも君たちにも大切なことです。本校には学力向上を保障する3つの柱があります。それは授業の充実と集中、自学自習の習慣そして計画的な補習・講習の活用です。65分の授業、最初は大変かも知れませんが、集中できるよう取り組んでください。また授業で芽吹いた学力を根付かせるのは1日3時間の予習、復習を継続することです。先生方は君たちのために土曜日や長期休暇中を活用した補習、講習を実施します。予備校に行かずとも学校の中で学べる体制が整備されています。しっかり活用してください。

次に、学校は『楽しい場所』です。

本校には90パーセントを超える加入率を誇る活発なクラブ活動があります。また学園祭、体育大会など伝統の学校行事があり、生徒会を中心に自主的な運営が行われ大いに盛り上がります。これらのクラブ活動、学校行事に取り組むクラスの活動に思い切り全力投球してください。そのプロセスの中で生涯の友を作り、本気で喧嘩もすればよいでしょう。そして仲直りの仕方も学んでください。何よりも大切なのは顔合わせ、心あわせ、そして力合わせのコミュニケーションの鉄則を自分のものにする、力を合わせることの大切さ、難しさ、そして達成した喜びを分かち合う充実感、これらを実体験しましょう。

最後は、学校は『みんなの場所』です。

授業中の教室の中の静寂、身だしなみ、挨拶先手、時間を守る、身の回りを清潔に保つ、これら最低限のルールが守られてこそ学校は鍛える場所であり、学ぶ場所であり、楽しい場所であることが守られます。今日から寝屋川高校生。寝屋川高校のメンバーシップを絶えず意識し、寝屋高スタンダードを維持し高める行動を皆がいつでも、どこでも、誰に対してもとれるようにしてください。学校は君たちの主体性に委ねられた『バーチャル社会』です。

『さまざまなこと思い出す桜哉』松尾芭蕉の句です。45歳で2400キロにも及ぶ奥の細道の旅路に出る1年前にふるさと伊賀上野で詠んだ句だそうです。おそらく芭蕉の脳裏にはふるさとで過ごした楽しい思い出、そしてこれからの壮大な旅への期待が駆けめぐっていたことでしょう。桜は来し方を思い出させる花であり、将来に思いを馳せさせる花でもあります。君たちも今日の日の伝統の桜にそれぞれの未来を誓うと共に、何年、何十年か先、母校を訪れ、この桜を見上げ、充実した高校生活を思い起こせるようにしていきましょう。

400名の67期生一人ひとりが寝屋川高校をこよなく愛し、3年間の高校生活で人として成長し、その夢を大きく膨らませ、叶えてくれることを祈念し、大阪府立寝屋川高校第67期生400名に対する激励の言葉とします。

平成24年4月5日

大阪府立寝屋川高等学校
校長 秦 寿 孝